



平成 30 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 共栄タンカー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 高田 泰
(コード番号 9130 東証1部)
問 合 せ 先 取締役総務部長 中嶋 靖
(TEL. 03-4477-7171)

過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ

この度、当社において過去に発表いたしました連結財務諸表等について誤謬があることが判明いたしました。

現在、過年度の決算短信及び有価証券報告書等の訂正作業をすすめており、現時点で判明している事実につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

今般、連結決算に係る税効果会計適用について検討を行っていたところ、過年度の外国子会社合算税制における子会社利益に関する繰延税金負債の処理について以下の2点の誤りがあることが判明いたしました。

- ①平成 27 年 3 月期及び平成 28 年 3 月期において、当社子会社所有船舶の売却に伴う圧縮記帳積立金計上時の子会社利益計上額に対する繰延税金負債の計上誤り。
- ②平成 27 年 3 月期において、持分法適用会社 ELEGANCE LINE S. A. 清算時の子会社利益計上額に対する繰延税金負債の計上誤り。

現時点において平成 27 年 3 月期の連結損益計算書の「当期純利益」は約 400 百万円、平成 28 年 3 月期の連結損益計算書の「親会社株主に帰属する当期純利益」は約 160 百万円いずれも増加し、平成 29 年 3 月期の連結損益計算書の「親会社株主に帰属する当期純利益」は約 560 百万円減少し、同期間の累計では増減はない見込みであります。

なお、当期の決算には、本件による影響はない見込みであります。

2. 今後の予定について

過年度の四半期報告書及び有価証券報告書の訂正報告書、過年度の訂正四半期決算短信及び訂正決算短信等は、訂正内容が確定次第速やかに提出する予定であります。

株主及び投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に対し、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを謹んでお詫び申し上げます。

以上